

祝 辞



東京都健康安全研究センター
所長 大井 洋

公益社団法人東京都ペストコントロール協会の創立50周年を心からお祝い申し上げます。
貴協会は、その前身である東京都害虫防除協同組合が昭和43年に設立されて以来、都における衛生的かつ快適な生活環境を保持増進させ都民の健康と福祉の向上に寄与するため、ねずみ・害虫等の有害生物の防除のための調査研究、知識の普及啓発、会員の技術の向上並びに防除防疫活動に多大な貢献をされ、現在に至っております。

その間、ねずみ・害虫等の防除に関する法令の整備等が進み、とりわけ、平成10年に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が制定され、感染症対策の新しい時代が始まりました。最近では、平成26年の夏に、都内を推定感染地として約70年ぶりにデング熱の国内感染が確認されましたが、その際の対応においても、貴協会の高い技術力、組織力は、都民の健康を守るために欠かせないものであることが証明されております。

また、平成14年の「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の改正以来、人や環境に配慮して管理をおこなう、IPM(総合的有害生物管理)の考え方を取り入れた防除への取組につきまして、貴協会並びに会員の皆様が、日々御尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

東京都では、貴協会の協力のもと、ウエストナイル熱やデング熱などの感染症を媒介する蚊について、生息状況や病原体遺伝子検査などのサーベイランス事業を行っております。このような平時からの取組につきましても、東京都と貴協会がこれまで以上に連携し、都民の高い期待に応えていく必要があると考えております。

時代の変化を先取りし専門的な技術に裏打ちされたサービスを提供する貴協会並びに会員の皆様には、共に公衆衛生の向上を目指すパートナーとして、心強く感じるとともに深く敬意を表します。

最後に、公益社団法人東京都ペストコントロール協会のさらなる御発展を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。